

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

このたび、一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。こちらの研究は東京大学医学部附属病院 瀬戸泰之院長からの実施許可も得ております。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020 年 4 月 6 日

施設名 東京大学医学部附属病院 光学医療診療部
代表者氏名 中井陽介

【研究課題名】

消化器内視鏡に関連した偶発症の全国調査

【研究期間】

2020 年 3 月(倫理委員会承認後)～2021 年 12 月 31 日

【研究の意義・目的】

日本消化器内視鏡学会は、消化器内視鏡に関連した偶発症を 1983 年から 5 年毎に、これまで6回にわたり全国的に調査を行ってきました。6 回目の調査は 2008 年から 2012 年まで行われ、その結果は 2016 年に本学会誌に公表されています。この実態を知ることは、安全かつ効果的な消化器内視鏡診療の遂行に欠かせないものであり、日本消化器内視鏡学会としては近年の実態についての調査が必要と考えています。

一方、これまでの 5 年間をまとめた調査では前方視的調査と比べて偶発症頻度にかかなりの較差があることが判明しました。そのため今回の「消化器内視鏡に関連した偶発症の全国調査」では、発生した偶発症については、調査期間を短く任意設定した前向き調査、ならびに、重症事例調査として、任意に設定した調査期間の 3 年以内に起こった重症事例を後ろ向きに調査し、従来の調査に比してより実態に近い調査を施行することとしました。本研究では、上記の前向きおよび後ろ向きの結果を併せて検討し、消化器内視鏡に関連した偶発症の実態を明らかにする事を目的とします。

【研究の方法】

当院消化器内科、胃食道外科及び大腸肛門外科で 2020 年 3 月 1 日(日)～7 月 30 日(火)までの間の任意の 1 週間で消化器内視鏡の処置を受けられた方の情報

(①術者側の事故数、②前処置と感染に関する偶発症発生数、③消化器内視鏡の検査総数および偶発症発生数(生検を含む観察のみ)、④内視鏡治療の実施例数および偶発症発生数、および、発生した偶発症の詳細)に関して収集致します。また、任意に設定した期間から遡って 3 年以内に発生した重症事例についても調査します。これらのデータは個人情報から削除された情報としてケースカードに入力し、そのデータを浜松医科大学臨床研究センターの臨床研究用サーバーに登録・保管され、他施設のデータと併せて全国調査のため利用されます。この情報にアクセス可能なのは浜松医

科大学臨床研究センター及び日本消化器内視鏡学会のみであり、データについては日本消化器内視鏡学会で集約し、解析の上公表いたしますが、個々人の情報別に示されることはありません。

【研究組織】

研究実施医療機関

1) 日本消化器内視鏡学会医療安全委員会

2) 研究代表責任者

日本消化器内視鏡学会 医療安全委員会 担当理事 入澤篤志
獨協医科大学医学部 内科学(消化器)講座 主任教授

3) データ登録・管理

浜松医科大学臨床研究センター 古田隆久

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

また、2020年3月1日(日)～7月30日(火)の期間で消化器内視鏡を実施された方で、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、内視鏡実施後3か月以内に下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

○研究内容に関する問い合わせの窓口

機 関 名 : 東京大学医学部附属病院 光学医療診療部
事務担当者: 大木大輔 石橋嶺 中田史子 白田龍之介 中井陽介

○試料・情報を当該研究に用いられることについて拒否する場合の連絡先
各施設の問い合わせ窓口

機 関 名 : 東京大学医学部附属病院 光学医療診療部
事務担当者: 大木大輔 石橋嶺 中田史子 白田龍之介 中井陽介